

KLIS TODAY

No.
47

筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類

ビブリオバトル特集号

推薦入試にビブリオバトルを導入してから7年が経ちました

宇陀 則彦

最近、ビブリオバトル方式の推薦入試（以下、ビブリオバトル入試）に関する取材を立て続けに2件受けました。ひとつは2024年10月18日号の読売中高生新聞¹⁾、もうひとつは2024年11月25日公開の朝日新聞Thinkキャンパス²⁾です。朝日新聞Thinkキャンパスの記事は12月1日配信のYahooニュースにも取り上げられ、多くの人が目にしたと思います。わずか1か月の間に大手の新聞社2社から取材を受けた理由はわかりませんが、注目を浴びたことは確かです。そこで、2024年11月で7回目を迎えたビブリオバトル入試について、上の2件の新聞社の記事を引用しながら説明します。

まずビブリオバトルとは何かということですが、簡単に言うと、お勧めの本を5分間紹介し、聞き手に読みたいと思わせるようにするゲームです。単なる本の紹介ではなく、読みたいと思わせるように工夫する点が特徴です。バトルというと物騒に聞こえますが、別名「知的書評合戦」と呼ばれるように、知的なコミュニケーションゲームです。これを推薦入試に導入したのがビブリオバトル入試というわけです。ビブリオバトル入試の手順や考え方についてはパンフレットや学類のWebページなどに説明があるので、ここでは省略します。ここからは2つの新聞社の記事から印象的な部分を引用します。

まずは読売中高生新聞から学生の声を紹介します。「読書が好きで、本や図書館について学べる大学に進みたいと思っていました。あまり人と話すのが得意ではなく、推薦入試でも面接が不安だったのですが、好きな本について語れるビブリオバトルなら自分にもできるかもしれないと思い、受けてみようと思いました。



試験で取り上げたのは、大好きな作家・辻村深月さんの『凍りのくじら』という小説です。一番好きなこの本で勝負しました。入学後も『凍りのくじら』を紹介してた子だよねと話しかけられて友達になれました。思い切って挑戦して本当によかったと思っています¹⁾

次に朝日新聞Thinkキャンパスから入試の特徴について説明した部分を紹介します。「自分の好みに合わせて本を選べるビブリオバトル方式には、一般的な面接試験で起こりやすい「テーマによる当たり外れ」がなく、受験者が普段通りの能力を発揮しやすいという利点があります。計画的に対策を進め、自信をもって入試に臨めるため、受験者の本来の能力を大学が正確に評価できるという側面もあり、両者にとってメリットの多い入試と言えます²⁾」次に同じく朝日新聞Thinkキャンパスから学生の声を紹介します。「入試のために選んだのは、『コーヒーが冷めないうちに』(川口俊和／著)という小説でした。この本の面白さを広めたいという強い思いがあったので、語りたいたくさんあって、ビブリオバトルの準備や対策も苦になりませんでした。入試当日は皆でより良いビブリオバトルをつくり上げよう意識することで緊張が和らぎ、積極的にディスカッションを楽しむことができました²⁾

いかがでしょう。好きな本を紹介して大学に入学できるなんて、知識情報・図書館学類らしい、世界で最も独創的な入試と言えるでしょう。コミュニケーションが得意な人も苦手な人もぜひ受験してください。

引用文献：

- 1) ビブリオバトルで入試!? 読売新聞中高生新聞, 1018号, 2024年10月18日発行
- 2) 「感動した本の面白さを伝えたい」ビブリオバトルで大学受験 チャンプ本が合格ではなく、何が評価されるの? 朝日新聞Thinkキャンパス. <https://www.asahi.com/thinkcampus/article-111011/>

(うだ・のりひこ 知識情報・図書館学類 教授)

夏のオープンキャンパスでのビブリオバトル

板倉 将通

2024年夏に開催されたオープンキャンパスにて、ビブリオバトルを開催しました。オープンキャンパスということもあり、高校生のみなさんにビブリオバトルとは何かを知ってもらえるような企画を開催しました。当日は模擬ビブリオバトルと体験型ビブリオバトルの2つの企画を行い、多くの方々に参加していただきました。

まず、模擬ビブリオバトルについて。春日講堂の壇上に学生が登壇し、各々のおススメする本を紹介しました。2年前(2023年度)よりYouTubeでもライブ配信するようになり、会場に実際に来た生徒さん含め、非常に多くの方に観覧いただけた企画となりました(当日の様子は『KLIS ビブリオバトル』で検索!)。入試以来、久しぶりのビブリオバトルということもあり、緊張しながらも楽しみながら発表をしていました。

今回、私はビブリオバトルの運営側として参加していました。その運営側からの視点として、いくつかビブリオバトルを開催するうえで取り組んだことを紹介します。

2023年度から2024年度への技術面での進歩として、カメラが2つに増えました。これによって登壇者の様子がより臨場感あふれる形で配信されるようになりました。また、タイマーの表示と書名・書影の表示方法も見直し、より見やすいような画面構成になるように工夫しました。さらに細かい点として、使用機材を学類で借りられるものに絞っていきました。当日、私が会場に私物として持ち込んだのはPCと確認用モニターのみで、それ以外はすべて、学類から貸与できる備品で配信環境を構築しました。2023年度の配信環境には私の私物を要所に使用しており、私が実行委員を離れた後、同じ環境を作ることができない状態にあり、保守性が低く、持続性がない状態でした。今後、何年も続けていける活動にするためには、個人に依拠しないシステムを構築する必要があることを身を持って体感しました。



ビブリオバトルをライブ配信するための設備

次に、体験型ビブリオバトルについて。こちらは対面とオンラインの2つの形態で開催しました。対面で参加した生徒さんは実際に入試で使うセットを使って体験していました。オンラインはZoomを使っての開催でした。高校でビブリオバトルをやったことがあるという生徒さんが複数いらっしゃったことに驚かされました。近年、総合的な学習の時間や国語科の授業、社会科の授業でビブリオバトルを取り入れている学校があると聞いていましたが、実際に行っている生徒さんとお会いできて嬉しかったです。ビブリオバトルの輪が広まりつつあることを実感した瞬間でした。さらに、各々の発表が終わった後、お互いに紹介した本を見合って会話が弾んだり、仲良くなっていたりする光景がみられました。ビブリオバトルのキャッチコピーは「人を通して本を知る。本を通して人を知る」です。はたして、その通りだなと思う次第です。

さて、オープンキャンパスで行ったビブリオバトルの様子を紹介でした。私事ですが、非常に楽しかったです。元来、裏方の仕事として機材を触ったり、当日のデザインをしたりすることが好きだったことに加えて、やはり好きな本を楽しそうに、幸せそうに話している人を見ているというのは心がワクワクするものです。オープンキャンパスではビブリオバトル以外にも、スチューデントトークや学生相談などもイベン



当日の春日講堂の様子 (スチューデントトーク前)

ントとして開催し、そこにも多くの参加者が訪れてくださいました (スチューデントトークの様子もYouTubeで見ることができます!)。2年間の活動を通じてオープンキャンパス自体のフォーマットも固まりつつあると感じています。また、ビブリオバトルをラフな形で開催したいとも考えています。現在、ビブリオバトルは特殊なイベントとして開催されている節があります。しかし、ビブリオバトルは本とその本が好きな理由さえあればどこでも開催できます。皆さんも是非、好きな本を持ってビブリオバトルに参加してみたいはいかがでしょうか。

(いたくら・まさみち 知識情報・図書館学類2年次)

ビブリオバトルスタジオ、体験してみませんか？

片野 樹理、野田 雅幸

2024年10月15日に全国大学ビブリオバトル関東Cブロック筑波大学予選をビブリオバトルスタジオにて行いました。全国大学ビブリオバトルの筑波大学大会は2019年度から行なっていますが、今回は初年度ぶりの対面開催を行うことができました。久しぶりの対面でのビブリオバトルの開催に加えて新たな施設のビブリオバトルスタジオで開催ができ、非常に嬉しく思います。当日のバトラーは知識情報・図書館学類の学生はもちろん、人文学類や社会学類、生物学類の学生が参加し、観覧の方もここ5年で1番多く、たくさんの方にビブリオバトルを楽しんでいただけたと思います。また、ビブリオバトルスタジオでは手軽にYouTubeでの配信も行えたため、YouTubeで観覧いただいた方も多く、来年度に向けてより体制を強化して筑波大でのビブリオバトルを盛り上げていくことができればと思っております。来年も継続して全国ビブリオバトルの予選を開催致しますので、気になった方はぜひ参加してみてください。

さらに、当ビブリオバトル実行委員会では、月ごとにビブリオバトル会も試験的に行っていきます。委員会内で毎月本を持ち寄ってビブリオバトルを行うのですが、時々ゲストなどと呼んでいます。本格的なビブリオバトルスタジオで行うビブリオバトルは、普通の教室で行うビブリオバトルとは一味違った雰囲気があります。本を立てるスタンドやマイク、カメラなどの設備も充実しており、手軽に本格的なビブリオバトルを楽しめることが大きな魅力と言えるでしょう。また、活動後にご飯などに行ってバトラー同士で交流することもあります。実際のビブリオバトルを通して今後の活動方針について試行錯誤中です。今後委員会の人以外の一般参加の方も参加できるような場でのビブリオバトルを行うことを計画中です。ビブリオバトルスタジオが正式に開室されたら本格的に広報を行う予定なので、皆様ぜひ楽しみに！

(かたの・じゅり 情報学学位プログラム1年次)

(のだ・まさゆき 知識情報・図書館学類2年次)



ビブリオバトル実行委員会で行ったビブリオバトルの様子